

図書・資料室だより

家族や女性の生き方をテーマに、映画化された作品の原作本や、映画がもとになったノベライズ本を集めました。

本を読んだ後に映画を観たり、映画を観てから本を読むことで、新しい発見があるかもしれませんね。

読んで考える 観て感じる 家族のカタチ



『ファミレス』
重松清：著
日本経済新聞出版社 2013年

子どもの独立後に再び始まる夫婦二人きりの生活。様々な家庭で繰り広げられる嫁姑問題、不倫、離婚、そして男の友情など、人と人との繋がりや意味や大切さ、家族のあり方を表現していく人生ドラマ。2017年公開の映画「恋妻家宮本」の原作本。



『八日目の蟬』
角田光代：著
中央公論新社 2011年

私の母は誘拐犯だった。事件が明るみになった後、もとの家族との生活に戻り、彼女を憎むことで自分を守り続けてきた恵理奈だが、自らが身ごもったことで、誘拐犯だった母の思いと向き合うことになる。逃亡生活で過ごした土地を巡るうちに恵理奈が見出したものとは…



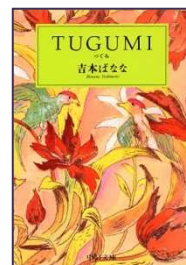
『そして父になる』
是枝裕和・佐野晶：共著
宝島社 2013年

六年間育てた息子が、生後間もなく病院で取り違えられていたことを告げられた二組の家族。血縁を優先して、本来の親子に戻すために試行錯誤するうちに、揺れ動く彼らの選択は…。



『風と共に去りぬ』(全5巻)
マーガレット・ミッチェル：著
新潮文庫 2015年

アメリカ南部を舞台に、南北戦争の痛手から立ち直るべく、故郷の再建に心血を注ぐスカーレット・オハラを波乱万丈な人生を描く。小説・映画で世界を席巻した永遠のベストセラー。



さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する、ことばや数字を紹介するコーナーです♪



イクボス宣言

「イクボス」とは、職場で共に働く部下の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と生活を充実させている上司（経営者・管理職）のこと。

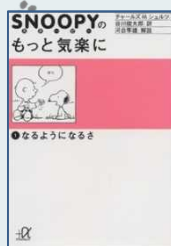
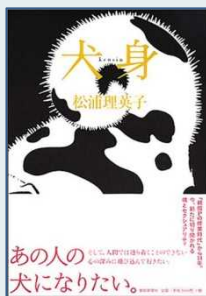
「イクボス宣言」とは、イクボスになっていくことを組織の内外に広く宣言することで、滋賀県は県内企業のイクボス宣言とイクボスへの取り組みを応援しています。

平成27年4月には三日月知事が「イクボス宣言」を行いました。続けて同年6月には滋賀県立学校長59名、滋賀県警察幹部62名が「イクボス宣言」を行っています。

平成29年12月現在「滋賀県イクボス宣言企業」は129社となっています。

2018年 戌年

“いぬ”の本、展示中です



図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
- 1月の休室日 1~4日、9日、15日、22日、29日
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで
(ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと♪

昨秋より図書資料室に『びわ湖材』を用いた机と椅子を設置しました。軽量で使いやすく木のぬくもりが伝わってくるとご好評をいただいております。お越しの際にはぜひご利用ください。



図書・資料室だより



『サンネンイチゴ』
笹生陽子:著 理論社
2004年

引っ込み思案の「あたし」は、カバンを盗まれたことがきっかけで、学校一の問題児アサミと一緒に事件を追うことに。自分に自信のなかった「あたし」は彼女と行動を共にするうちに、いつしか自分の気持ちを出せるようになっていき…。



『女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと』

西原理恵子:著
KADOKAWA 2017年

これから社会に出て、人生の荒波に立ち向かおうとしている女の子へのメッセージ。「自分の幸せを人任せにしないこと」など、女性が社会的に自立していくことの大切さを教えてくれます。

10代のころとからだを親子で考える



『15歳までの女の子に伝えたい自分の体と心の守り方』

やまがたてるえ:著 かんき出版
2012年

月経トラブル、婦人科検診、性感染症、デートDVのことなど、自分の心と体を大切にするために、知っておきたい知識をマンガとコラムでわかりやすく解説しています。中高生はもちろん、親世代もおすすめです。

“からだ”の成長にともない“ころ”も変化していく10代。家庭のこと、友だちのこと、学校のこと、異性のこと、将来のこと、特に今回は女の子の尽きない悩みを、親子で話し合うきっかけになる本をご紹介します。

『自分を越え続ける 熱意と行動力があれば、叶わない夢はない』
南谷真鈴:著 ダイヤモンド社
2017年

19歳で世界七大陸最高峰を制覇した著者。「目的に向かい、情熱によって動かされる人間の意思より強いものはない。自分自身を信じる力は、もはや奇跡だ」など、過酷な経験の中から出た彼女の言葉には力強さがあり、読者を奮い立たせる魅力があります。



さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する、ことばや数字を紹介するコーナーです

17.7%



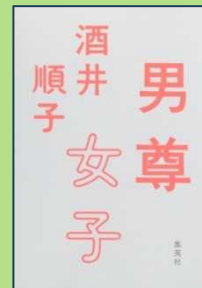
さんかく先生

10月の衆議院選挙では、前回（2014年）と比べ11人多い209人の女性が立候補し、全候補者（1,180人）に占める女性の割合は17.7%と過去最高となりました。

一方で、当選者465人のうち、議席を得た女性は47人と全議員の10.1%にとどまっています。

このほど「世界経済フォーラム」が発表した、男女格差の大きさを国別に順位付けした報告書によると、日本は144か国中114位と前年より3つ順位を下げました。特に政治分野（123位）での格差が大きく、女性の議員や閣僚が少ないことなどが要因であると指摘されています。

新着図書



図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
- 12月の休室日 4日、11日、18日、25日、28~1月4日
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで (ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先 (電話)
 - 0748-37-3735 (図書・資料室直通)
 - 0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



G-NET シネマ

12月23日(土)13:30~
 「逢いたくてヴェニス」
 監督:ピビアン・ネーフェ/
 2000年/ドイツ/91分
 金持ちのキャリアウーマンと不倫旅行に出してしまった夫に逆上した妻が、浮気相手の夫を道連れにして追いかける姿を描いたコメディ。
 《参加無料&申込不要》

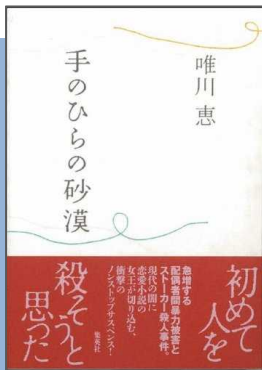
図書・資料室だより

11月12日から11月25日まで

「女性に対する暴力をなくす運動」が実施されます。



夫・パートナーからの暴力、性犯罪、ストーカー行為、売買春、セクシュアル・ハラスメントなど女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。内閣府では、地方公共団体、女性団体などと連携し、社会の意識啓発など、女性に対する暴力の問題に関する取組をこの期間により一層強化しています。



『手のひらの砂漠』
唯川恵：著
集英社 2013年

平凡な結婚生活の先に待っていたのは思いもよらぬ夫からの暴力だった。直木賞作家がストーカーやDV被害の現実に切り込むサスペンス。



『ねえ、話してみて!』
ジェシー：作・絵
誠信書房 2015年

性的虐待を受けた子どもむけに描かれた絵本。ひとりで抱え込まずに話すこと、そうすれば誰かがきくと手を差し伸べてくれるというメッセージが込められている。

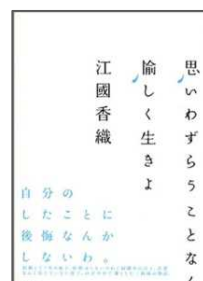
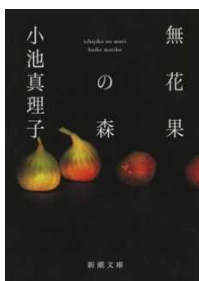
『部長、その恋愛はセクハラです!』
牟田和恵：著
集英社 2013年

豊富なケーススタディに基づいて、何が職場でのセクシュアル・ハラスメントになるのかを、セクハラ問題に精通した著者が詳細に論じる。



『女子高生の裏社会「関係性の貧困」に生きる少女たち』
仁藤夢乃：著
光文社 2014年

「JK産業」で働く、一見普通の子高生たち。だが、彼女たちの本音からは、居場所や社会的つながりをもたない子どもたちの状況がみえてくる。



さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する、ことばや数字を紹介するコーナーです

パープルリボン

パープルリボンは、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」を目指すアウェアネス・リボンです。世界を子どもや暴力の被害者にとってより安全なものとすることを目的として、1994年、アメリカ・ニューハンプシャー州のベルリンという小さな町で、近親姦やレイプのサバイバー（被害を乗り越えた人々）によって生まれたといわれています。

それを身につけることでパープルリボン運動の趣旨への賛同を表明することができます。国際的なネットワークに発展したこの草の根運動は、個人間の暴力や虐待に関心を引き起こすとともに、暴力の下に身を置いている人々に勇気を与えようとの願いから現在では40か国以上に広がっています。



図書資料室ではパープルリボンにちなみ関連図書の展示を行っています。

《アウェアネス・リボンとは？》

特定の社会問題への理解、支援、メッセージ等を表明するシンボルとして、衣服へのピン留めやイルミネーション、ステッカーなど様々な方法で用いられるリボンの総称です。

「アウェアネス(awareness)」は、意識や気づきを意味する英語で、リボンの色によってどのような問題や運動について意志を示しているかが表されます。

女性に関連するリボンとしては、母体保護や母子健康の「ホワイトリボン」、乳癌の予防・啓発の「ピンクリボン」などがあります。

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
 - 11月の休室日 4日、6日、13日、20日、24日、27日
 - 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで
(ビデオ) 2本 1週間まで
 - お問い合わせ先(電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと♪

10/27~11/9は読書週間です。終戦後「読書の力によって、平和な国家をつくらう」という思いで、出版社や書店、図書館などが始めました。今年の標語は「本に恋する季節です!」。素敵な出会いがあるといいですね。